

## 歴史(明治時代⑥・運動編)

明治六年の政変ののち、政府の中心となった①\_\_\_\_\_は②\_\_\_\_\_省を設置して、政策をおし進めた。しかし、これを批判した板垣退助は、国民が政治に参加できる道を開くべきだと主張して、1874年、③\_\_\_\_\_を提出し、国会の開設を求め、のちに④\_\_\_\_\_社を結成し、運動を進めた。また、1877年、西郷隆盛を中心とした鹿児島の上族が⑤\_\_\_\_\_戦争を起し、こののち、国民が政治に参加する権利の確立をめざす⑥\_\_\_\_\_運動が広まった。

1880年には、全国の代表者が集まり⑦\_\_\_\_\_を結成し、国会の開設を求めた。政府がたおれることを心配した⑧\_\_\_\_\_などは、民権派との結びつきが強い⑨\_\_\_\_\_を政府から追い出し、そして10年後に国会を開くことを約束した。その後、⑩\_\_\_\_\_運動は政党の結成へと進み、板垣退助を党首とする⑪\_\_\_\_\_党や⑫\_\_\_\_\_を党首とする⑬\_\_\_\_\_党が結成された。